

令和3年第2回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

まず、はじめに、「新型コロナウイルス感染症にかかる白井市の状況、及びコロナワクチン接種の進捗状況」について申し上げます。

本市における新型コロナウイルス新規感染者は、3月33名、4月36名、5月44名と、わずかながら増加傾向にありました。現在も、本市に隣接する船橋市、柏市、鎌ヶ谷市、八千代市が「まん延防止等重点措置」の対象区域となっており、緊張感を持った対応が求められています。また、感染力が強いと指摘される、変異した新型コロナウイルスも各地で広がりを見せています。このような中、市内各施設にあっては、必要な感染対策を講じ、利用していただいているところですが、多くの人々の移動が伴う、チャレンジ・パーソンズスポーツや梨マラソン大会などのイベントについては、大変残念なことです、中止の判断をしたところです。

新型コロナウイルスワクチン接種の動きが加速しています。本市においても、先月17日から、75歳以上の方を対象にワクチン接種を開始し、現在は、65歳以上の方、高齢者施設の従事者、基礎疾患を有する方に、接種のためのクーポン券を発送したところです。接種の進捗状況ですが、65歳以上の対象者、約1万7千8百人のうち、6月6日時点で約6千4百人、約36%の方について、1回目の接種が終了し、早い方は、本日7日から、2回目の接種が始まります。また、昨日6日の日曜日より、7月末までの予定で、北総白井病院において、毎週日曜日に1日300人を対象にワクチン接種をはじめました。ワクチンが予定どおり供給されれば、早期に接種を希望されている65歳以上の方については、7月末までに2回目の接種を終えるものと見込んでおります。

このように円滑にワクチン接種を進めることができますのも、準備の段階からご尽力いただいている、市内医療機関の皆さま方のご理解とご協力によるものであり、この場をお借りし、心から御礼申し上げます。

今後の接種スケジュールにつきましては、65歳未満の方へ、5歳刻みの年齢区分ごとに6月中旬から、クーポン券を発送する予定です。また、社会生活を維持するために欠かせない、学校や保育園、介護・障害福祉サービス事業所等の従事者への接種も優先して進めてまいります。ワクチン予約が始まった直後には、コールセンターが大変混雑し、電話がつながりにくかった皆さまにはご心配をおかけしましたが、日を追って混雑も緩和し、電話以外のインターネット予約サイトでの受付も多くなってきているところでございます。また、ワクチン接種開始前から問題にされていたワクチンロスについては、「白井市ワクチンロス対策方針」を定め、急なキャンセルなどがあった場合に、医療従事者や高齢者施設、学校等の従事者へ接種するほか、「もったいないバンク」を創設し、対策方針に基づき、出来る限りワクチンが廃棄されないよう取組みを進めているところです。接種を希望される市民の皆様が、円滑にワクチン接種を受けていただけるよう、関係機関と連携をとりながら、引き続き、万全の体制で取り組んでまいります。

現在、急速に進められているワクチン接種への対応はもちろんのこと、市としては、コロナ禍による市民生活への支援についても、国、県の動向を注視しながら、独自の対策を講じてきたところです。影響が長期化する中で、議員の皆さまからのご意見も踏まえ、地域経済支援や感染症予防など、地方創生臨時交付金を活用した取組みを行うため、今議会においても補正予算を提案させていただいております。感染予防策としてワクチン接種に対する期待が高まっているところですが、今なお、変異ウイルスの脅威など、新型コロナウイルス感染症に対しては、予断の許さない状況が続いております。長期戦が続く中、先の見えないコロナ禍にあっては、特に、命と健康を守るための取組みを最優先に、市民の皆さまに寄り添い、安全・安心な生活が送れるよう、市として必要な対策に取り組んでまいります。

次に、「２０２０東京オリンピック大会におけるブルキナファソ国との事後交流に係る覚書の締結」について申し上げます。

東京オリンピック大会の開催まで、２カ月を切りました。白井市は、令和元年に第１７次ホストタウン登録において、アフリカのブルキナファソ国のホストタウンとして登録されております。オリンピックに先立ち、ブルキナファソ国との事後交流に係る覚書を締結することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ブルキナファソ国のスポーツ担当大臣の来日が、見合わせとなりました。そのため、ブルキナファソ国と調整を重ねた結果、先月、５月２１日に、署名した覚書をブルキナファソ国大使に託してまいりました。ブルキナファソ国において、担当大臣の署名後、本市に返送されたところで、締結完了となります。

コロナ禍においては、交流できる内容に限りはありますが、本市とブルキナファソ国との友好関係をさらに深めていけるよう、取り組みを進めてまいりたいと考えております。

以上で諸般の報告を終わります。